

日野町出身

山岳写真家 故田淵行男さんの作品

母校の黒坂小に寄贈



長野県豊科町の田淵行男記念館から田淵さんの作品が贈られ、全校児童は大喜び



田淵行男

● たぶち・ゆきお (1905 ~ 1989)

明治38年、黒坂村(現・日野町)で生まれ、東京高等師範学校(現・筑波大学)を卒業し教職に就く。昭和20年に長野県安曇野に疎開し、高山蝶の生態研究・撮影に取り組む。昭和36年、豊科町に居を移し生涯をその地でおくる。昭和59年に同町の名誉町民第1号になり、没後、平成2年に田淵行男記念館が開館。年間を通じて多くの写真・自然愛好者が訪れている。日本各地の山岳写真やエッセイ集など生涯で37冊もの著作を発表。

山岳写真家であり、高山蝶の研究家としても高い評価を得ている日野町出身の故田淵行男さんの作品が2月15日、田淵さんの母校である黒坂小学校に贈られました。

今年6月に生誕100周年を迎えることから、昨年の6月に故郷である日野町で作品展(平成16年6月13日から26日)が開かれました。これを機に県を越えた交流が深まり「黒坂小で過ごした日々が田淵行男の原点。母校の子もたちにいつも作品を見てほしい」との思いから田淵行男記念館が寄贈しました。

贈呈式には、田淵さんが居を移し、生涯を過ごした長野県豊科町にある田淵行男記念

館の赤羽行雄館長が来町。同記念館に梅林町長が感謝状を贈り、児童を代表して高橋萌さん(黒小5年)が「昨年の作品展を見て槍ヶ岳や蝶の写真がとても印象的でした。もらった写真を大切にします」とお礼を述べました。

贈られた作品は、田淵さんの代表作でもある「暮れゆく常念」(常念岳を槍ヶ岳方面から写した光景。縦102mm、横130mm)と「結ばれた雌雄ヒメギフチョウ」(高山蝶ヒメギフチョウのつがい撮影。縦60mm、横75mm)の2点のモノクロ写真。田淵さん直筆、山には多くの楽しみがあるという意味「一山百楽」と書かれた色紙

モノクロ写真が想像力をふくらませる

も贈られました。

式後は、田淵行男記念館長の赤羽さんの講演があり、田淵さんの写真や蝶研究への思い、自然環境保護の大切さなどを語り、その言葉に子どもたちは真剣なまなざしで聞いていました。

赤羽さんは「作品には、自然保護へのメッセージが込められています。子どもたちには、大先輩の写真を見て皆さんのことを感じ取ってほしい。モノクロ写真から想像力をふくらませてほしい」と話しました。

寄贈された作品は、黒坂小学校の玄関に展示されました。

犬の登録・狂犬病予防注射



平成 17 年度の犬の登録と狂犬病予防注射を実施します。

登録にあたっては、犬の「名前」「生年月日」「種類」「性別」等が分かるようにしてください。



新規登録の方	5,950 円	(登録料・注射済証交付料・注射料)
登録済の方	2,950 円	(注射済証交付料・注射料)
犬マーク	80 円	(希望者のみ)



日	時間	場所
4月6日(水)	13:15 ~ 13:30	舟場コミュニティーセンター前
	13:40 ~ 13:50	広島ガス住設前(高尾)
	14:00 ~ 14:10	金持公民館前
	14:20 ~ 14:30	板井原公民館前
	14:50 ~ 15:00	町青年の家前(濁谷)
4月7日(木)	13:10 ~ 13:35	野田みちくさの館前
	13:45 ~ 13:55	津地自治会館前
	14:05 ~ 14:20	町老人憩いの家前(下榎)
	14:30 ~ 14:40	上本郷公会堂前
	14:50 ~ 15:00	奥渡公民館前
	15:20 ~ 16:00	山村開発センター前(根雨)
4月8日(金)	13:20 ~ 13:30	久住集会所前
	13:50 ~ 14:00	小河内バス停前
	14:10 ~ 14:20	上菅駅前
	14:30 ~ 15:10	町公民館前(黒坂)
6月10日(金)	13:20 ~ 14:10	山村開発センター前(根雨)

犬が固定できる人が連れて来てください。

集団接種できない場合は、犬猫病院で個人注射を受けてください。

【問合せ】町健康福祉センター(電話 72-2555)

春の全国交通安全運動 4月6日~15日

子どもとついでに
交通安全の確認を



春は新入学の季節。新1年生は道路の1人歩きもまだ不慣れ。毎日通う学校までの道路にも危険や不安がいつぱいです。子どもを交通事故から守るためには、子どもたちに交通ルールの大切さを教え、きちんと守らせることが大事です。身近な道路を歩きながら、子どもといっしょに交通安全を確認しましょう。

子どもが交通事故に遭わないためには、子ども自身が交通安全に対する意識をもち、交通ルールをきちんと守ることが何よりも重要です。

交通ルールは、交通事故を起こさないために、歩行者、自動車、バイク、自転車など道路を利用する人みんなが守らなければならない大切な約束です。道路を歩くときは歩道を歩く。歩道のない道路では右側を歩く。横断歩道以外で横断しない。赤信号では横断しない。日ごろから、子どもたちといっしょに身近な道路を歩きながら、こうした基本的な交通ルールの大切さを一つひとつ教えていきましょう。また、子どもは大人の行動を見ながら物事を覚えていくものです。大人が交通ルールを守り、子どもたちの手本となるようにしましょう。